

専門・認定看護師会ニュースレター

専門・認定看護師会では、専門・認定看護師の活動報告や、各領域の専門知識をワンポイントアドバイスでお知らせするため、ニュースレターを毎月発行しています。

がんと診断されても“働く”をあきらめない～私らしく生きるために～

がんの診断を受けても、毎日の暮らしは続きます。診断を受けとめ、治療の選択を考えていく忙しい時期に、多くの方は仕事の引き継ぎをしたり、生活の段取りを整えたりしなくてはなりません。治療がある程度一段落したあとも、職場復帰や医療費などについて悩む方が大勢います。時期に合わせた柔軟な働き方について看護師ができる支援について考えてみませんか。

●がんと就労の研究結果において、不本意な離職が問題に…。

- ・ がん患者の増加、**3人に1人**が20歳～64歳の**就労可能世代に罹患**（2008）
- ・ 勤労者の**約34%**が**依願退職、解雇**、自営業者の**約13%**が**廃業**している

不本意な離職を防止するための仕事と治療の両立を支援するしくみ 「療養・就労両立支援指導料」

●医療機関における就労支援の実際

治療と仕事を両立しながら働き続けるために、病院から職場に具体的な配慮事項を伝えるしくみです

① 勤務情報提供書の作成 (事業者、産業医等と作成)

勤務情報提供書



仕事との両立には通院の継続が必要です。また、●●という症状があるため、○○について配慮をお願いしてください。

- ③ 主治医に提供された情報を事業者者に提出
- ④ 産業医意見を勘案して両立支援プランの作成

両立支援プラン



労働者/患者

主治医

事業者



治療と仕事の両立支援イメージキャラクター“ちりょうさ”

- ② 勤務情報提供書を踏まえ療養上の指導、両立に必要な情報を提供

これら両立支援に使用する書式すべては電子カルテ内「文書作成」にあります

画像出典：厚生労働省（2020）：がん患者・経験者の治療と仕事の両立支援施策の現状について

●看護師ができる就労支援

「いま、お仕事はされていますか？」

医療者のひと声は患者さんにとって『治療の場（病院）で仕事の話をして大丈夫なんだ』という安心感につながります。結論を急がなくてもいいことを伝え、患者さんの就労に対するニーズを確認しましょう。そのうえで、治療と仕事を両立させるために必要な配慮について医師の意見を確認しながら話し合しましょう。